

リスキリングを通じたキャリアアップ支援事業 一次公募

審査委員からの総評コメント

一次公募で受け付けた申請について、審査項目ごとに、審査委員からいただいた総評コメントを公開致します。二次公募以降の申請の際の参考として、ご活用ください。

審査項目	コメント
ア. 提案内容において、ターゲット層の課題・ニーズ及び転職先の産業・企業の課題・ニーズが適切に把握されており、それらを繋ぐ一貫性のある取組内容（キャリア相談対応、リスキリング提供、転職支援）となっているか。	<ul style="list-style-type: none">事業者独自の特徴をより意識して、強みを生かしたリスキリングを提供するなど、特徴的な取組が提案書から分かりやすく読み取れることが望ましい。職場で経験してきた/転職先で経験する OJT を考慮してリスキリング内容の選定を行うことで、計画的なキャリア形成が可能になり、他の提案との差別化を図ることができる可能性がある。支援対象となる人材像や出口が不明瞭な場合、到達するレベルやリスキリング後の活躍先についての具体性が乏しくなり、そうした提案は、低い評価となる恐れがある。
イ. 各プロセス（広報、キャリア相談対応、リスキリング提供、転職支援）で質を高めるための工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none">提案書では補助事業の各支援プロセスの記載が求められるが、事業者によって得意な部分が異なるため、一部の支援プロセスの記載が薄くなるなど、明瞭なものと不明瞭なもので二極化している。全ての支援プロセスについて丁寧な提案が行われていることが望ましい。提供されるリスキリングコンテンツは、オンラインによるものが多かったが、転職先で必要なスキルによっては、実地研修とセットで取り組むべきものもある。リスキリング後の転職先の想定に応じて適切な支援方法が検討されていることが望ましい。転職後の離職率を下げる観点から、キャリア相談やリスキリング提供において、専門機関や教育機関と連携する取組も見られ、こうした提案は他の提案との差別化を図ることができる可能性がある。
ウ. 提案内容を実施するに当たって、実現性が高い実施体制、スケジュール、支出計画等になっているか。	<ul style="list-style-type: none">支援対象の人数に対して支援側の人数が極端に少ない場合や、支援者1人が複数の役割を担うことになっている場合など、実施体制面で実現可能性に乏しい又は支援が手薄になると想定される提案は低い評価となる恐れがある。支援を実施するに当たっては、十分な体制が構築された提案であることが望ましい。支援対象となる在職者の勤務時間等の事情を勘案した設計が行われていることが望ましい。リスキリング提供について、単に、カリキュラムの修了や資格取得に留まるのではなく、追加的な工夫により、学びの質を担保できる取組が提案されている場合には、他の提案との差別化を図ることができる可能性がある。
エ. 本事業により特に高い成果が期待できるか（社会に与えるインパクト、リスキリング講座やサービスの新規性・独創性、転職率、類似事業での実績、賃金引上げの度合い等）。	<ul style="list-style-type: none">単に人気のあるリスキリングコンテンツや事業者の既存の取組から考えるのではなく、カーボンニュートラルや建築業における DX など社会的なニーズや社会課題の解決につながるような提案が行われていることが望ましい。提案に当たっては、リスキリングを受講した人を雇用する受け皿が十分にあることが明確になっていることが望ましい。

※本総評コメントは、今後の提案に役立てていただくため、委員審査の中で、提案に当たって考慮されて
いることが望ましいとされたポイント、他の提案と差別化を図ることができる可能性があるとされたポイント、低い評価となる恐れのあるポイントをまとめたものです。委員審査の内容は非公開であり、本コメントについてのご質問にはお答えすることはできませんので、ご了承ください。